

(1) 太田博士の発明した人間を原子人間にもどして光にのせてはこびまたもとのようにするキカイ、アトムヒューマラーを手に入れたブラックバードは「わしはまず、世界中の宝を手に入れる」といつて

(2) まいばん海のそくつから光にのつて、世界中をかけめぐります。ヒューン パパート、出て行けばアメリカのニューヨークでは

(3) 大銀行のオクふかくしまつてあつた金貨がそつくりなくなつています。「たいへんだ、これは原子人間のしわざにちがいない…」インドのデリーでも

(4) インド一の大金持ち、チャンドラカーンのもつていたダイヤモンドやルビー、サファイアなどの宝石がとられました。「原子人間がきてもつていくのだ…世界ケイサツは何をしているのか、そして原子人間はドコにいるのだ」

(5) このような事件が毎日新聞で知られます。ガンマアは「ロボット太郎よ、この原子人間というやつの正体は大体わかつている。こいつをつかまえるのは私たちの仕事だよ」と言つています。すると

(6) 世界ケイサツ日本支部から電話がかかつてきました。「ガンマアさん、ゼビ、あなたのお力で、原子人間をつかまえて下さい」「はア、うまくいくかどうか。とにかくやつてみましょう」

(7) 「太郎、お前はこれから私のいう方へヒコーキをとばせてみろ。そこにもしかすると、原子人間のそくつがある」「ロンロン、ではいつてまいります」ロボット太郎は、

(8) ヒコーキにのつて日本をはなれます。ブルブルルーン。ガンマアがいつか空中で原子人間をみたところへいつてみるわけです。ところが、ここまでくると

(9) 「ロンロンロン。おや、あやしいヒコーキがどんでいくぞ。まっくろなヒコーキだ。もしかするとブラックバードたちのヒコーキかもしれない。よしツイセキしよう」

(10) ビューン キキーン ブルルーン ロボット太郎が追いかけていくと、黒いヒコーキは海のバードのそくつへとんでいきます。ところが、そくつでは

原始人間⑬

(11) 「やっ、あのヒコーキはガンマアのものだ。ここをかぎつけて来たな。よし、この原子光線でおとてしまえ」と、太郎ののるヒコーキめがけてひとすじの光をばはなちました。

(12) ピカリーケルルルーン 光にあたつてまいおちるロボット太郎のヒコーキ。果してどうなるのでしょうか。